

朝 監 第 3 1 号
平成 30 年 11 月 27 日

朝来市長 多 次 勝 昭 様

朝来市監査委員 山 下 司
同 太 田 茂

平成 30 年度財政援助団体監査の結果報告について（提出）

地方自治法第 199 条第 7 項の規定により、平成 30 年度財政援助団体監査を実施したので、同条第 9 項の規定により監査結果に関する報告書を提出します。

平成 30 年度財政援助団体監査報告書

第 1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第 199 条第 7 項の規定による財政援助団体監査

2 監査の対象

(1) 対象団体

公益社団法人朝来市シルバー人材センター（以下「シルバー人材センター」という。）

(2) 所管部局

健康福祉部高年福祉課

(3) 監査対象事項

平成 29 年度及び平成 30 年度に朝来市がシルバー人材センターに交付した高年齢者就業機会確保事業費等補助金に係る出納その他の事務

3 監査の期間

平成 30 年 10 月 5 日から 11 月 20 日まで

4 監査の方法

朝来市役所及びシルバー人材センター事務所において、補助金交付関係書類、関係帳票その他証拠書類等の内容を点検するとともに、監査対象団体職員及び所管部局職員から事務及び関係事業の内容を聴取し、事務の合規性及び正確性並びに補助金交付の有効性等を検証した。

5 監査の着眼点

(1) 対象団体関係

ア 補助金交付申請、請求、実績報告等の手続は適正に行われているか。

イ 事業計画書、予算書及び決算諸表等と所管部局へ提出した補助金交付申請内容、実績報告内容は符合するか。

ウ 補助金に関する会計経理は規定に従って適正に行われているか。

エ 出納関係帳票の整備、記帳は適正か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。

オ 会計処理上の責任体制は確立されているか。

カ 精算報告は適正に行われているか。また、精算に伴う返還金の返還の時期等は適切か。

キ 補助対象事業は、計画及び補助金交付条件に従って実施され、十分効果が上げられているか。また、補助金が補助対象事業以外に流用されていないか。

(2) 所管部局関係

- ア 補助金交付の決定は法令等に適合しているか。
- イ 補助金の交付目的及び補助対象事業の内容は明確か。また、公益上の必要性は十分か。
- ウ 補助金交付に関する条件の内容は明確か。
- エ 補助金の額の算定、交付方法、時期、手続等は適正か。
- オ 補助金交付の効果及び条件の履行の確認、実績報告の内容検証等は適切に行われているか。
- カ 補助対象団体への監督指導は適切に行われているか。
- キ 事業実績や社会情勢の変化を踏まえ、補助の在り方を見直す必要はないか。

第2 監査対象の概要

1 監査対象団体の概要

(1) 名称

公益社団法人朝来市シルバー人材センター

(2) 事務所所在地

朝来市山東町溝黒 411 番地

(3) 沿革

平成4年4月1日 社団法人朝来郡広域シルバー人材センター設立

平成17年4月1日 社団法人朝来市シルバー人材センターに名称変更

平成24年4月1日 公益社団法人に移行

(4) 主な事業内容

ア 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものを除く。）の機会の確保及び提供

イ 臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものに限る。）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者への職業紹介事業又は一般労働者派遣事業の実施

ウ 上記のほか、会員及び市民を対象とした交通安全教室、健康体操教室、健康料理教室等の講習会開催やボランティア活動などに取り組んでいる。

(5) 財務概況

別表1のとおり

2 補助金の概要

(1) 補助金の名称

高齢者就業機会確保事業費等補助金（以下「補助金」という。）

(2) 補助金交付額

ア 平成29年度 10,800,000円

イ 平成30年度（8月末現在） 5,650,000円

（注）平成30年度の交付決定額は11,300,000円。このうち半額分が交付されている。

(3) 補助金交付の目的

高齢者の就業機会の確保や技術研修などを実施するシルバー人材センターを支援することにより、高齢者の社会参加や健康・生きがいづくりを促進する。

(4) 補助金交付の根拠

朝来市高年齢者就業機会確保事業費等補助金（シルバー人材センター事業）交付要綱（以下「補助金交付要綱」という。）

(5) 補助金交付の態様

ア 補助金の交付方法

補助金は、補助金交付要綱に定める申請、交付決定、請求の手続きを経て、交付決定額を年2回に分けて概算払いにより交付されている。

イ 補助金交付手続の状況

手続種別	平成29年度交付分	平成30年度交付分 (8月末現在)
交付申請日	平成29年4月6日	平成30年4月27日
交付決定日	平成29年4月18日	平成30年5月1日
交付請求日	平成29年4月6日 平成29年10月10日	平成30年5月15日
交付日及び 交付金額	平成29年5月10日 5,400,000円 平成29年10月25日 5,400,000円	平成30年6月11日 5,650,000円
実績報告日	平成30年5月25日	

(6) 補助対象事業及び補助対象経費

補助対象事業及び補助対象経費は、国庫補助事業「高年齢者就業機会確保事業（シルバー人材センター事業）」に係る「高年齢者就業機会確保事業費等補助金（シルバー人材センター事業分）及び雇用開発支援事業費等補助金（シルバー人材センター事業分）交付要綱」（平成13年11月1日付厚生労働省発職高第170号厚生労働事務次官通知の別紙）で定める事業及び経費とされている。

市からシルバー人材センターに交付された補助金は、上記補助対象事業の実施に必要な人件費、諸謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、委託費、賃借料、旅費交通費に充当されている。詳細は別表2のとおりである。

第3 監査の結果及び意見

市からシルバー人材センターに交付された補助金は補助目的に沿って使用されており、補助金交付は公益上の必要性を有するものと認められる。しかしながら、補助金交付の在り方及び交付事務手続の一部において改善を要す

る事項が見受けられた。以下に意見を付してその状況を記載する。

1 補助金額の算定根拠に関すること

補助金交付要綱上、補助金額の算定方法や補助限度額に関する規定が存在しないため、補助金交付決定額の算定根拠及び当該金額の妥当性が明確でない。補助金交付要綱に補助金額の算定方法を明示する措置が必要であると考ええる。

2 補助金交付申請及び実績報告に関すること

シルバー人材センターが市に提出した補助金交付申請書及び補助対象事業実績報告書には、補助金の使途に関する資料が添付されているが、当該資料の記載内容は簡略であり、そのために補助金の具体的な使途が明確でなく、補助金充当の正当性を容易に確認し難い。

補助金の交付申請及び実績報告において、補助金の使途は具体的かつ詳細に示すよう改められたい。所管部局である高年福祉課にあっては、必要な書式を整備・指定するとともに、それに基づいて交付申請及び実績報告の内容を審査するよう求めたい。

3 所管部局による補助対象事業実績の審査に関すること

高年福祉課による補助対象事業実績の審査が十分でないように見受けられる。このたびの監査で、高年福祉課は、シルバー人材センターから提出された補助対象事業実績報告書の内容審査に関して、現地調査や補助金経理関係書類（シルバー人材センター保管の補助金経理簿及び支出証拠書類の類）の現物検査を一度も行っていないことが判明した。

補助金交付要綱上、これらの調査・検査を行う義務は課せられていないが、いずれも補助金経理の合規性・正確性を検証する上で必要な措置である。現地調査や補助金経理関係書類現物検査を行うよう求めたい。

4 補助金交付請求の事務手続に関すること

平成 29 年 5 月交付分補助金の補助金交付請求書が、補助金交付決定前に提出され、受理されている。シルバー人材センターは補助金交付申請書と請求書を同時に提出し、高年福祉課はこれらを同時に受理したものと見受けられる。補助金の交付請求は交付決定後になされるべきであり、また、請求書の受理についても同様である。請求者・交付者ともに適正な事務手続を行うよう徹底されたい。

別表1 シルバー人材センター財務概況

正味財産増減の状況			(単位:円)
科目	平成29年度	平成28年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受託事業収益	234,443,850	253,485,208	△ 19,041,358
施設管理事業収益	700,000	700,000	0
労働者派遣事業等受託収益	2,736,720	1,857,440	879,280
受取会費	1,515,000	1,482,000	33,000
受取補助金等	21,600,000	21,600,000	0
雑収益	72,151	66,550	5,601
経常収益計	261,067,721	279,191,198	△ 18,123,477
(2)経常費用			
事業費	254,270,681	272,239,214	△ 17,968,533
管理費	7,476,673	6,641,217	835,456
経常費用計	261,747,354	278,880,431	△ 17,133,077
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 679,633	310,767	△ 990,400
2.経常外増減の部			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 679,633	310,767	△ 990,400
一般正味財産期首残高	45,375,283	45,064,516	310,767
一般正味財産期末残高	44,695,650	45,375,283	△ 679,633
II 指定正味財産増減の部			
収益計	0	0	0
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	44,695,650	45,375,283	△ 679,633

【注記】

本表は、シルバー人材センター作成『平成30年度定時総会議案書』所載の「正味財産増減計算書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)」に基づき作成した。

別表2 補助金の使途

補助金充当状況、補助金の使途

(単位:円、%)

補助金を充当した支出 科目の名称	平成29年度				平成30年度(8月末現在)				補助金の使途 (主な支出内容)
	予算現額	支出済額	補助金充当額	補助金充当率	予算現額	支出済額	補助金充当額	補助金充当率	
給与手当	14,900,000	14,896,133	4,000,000	26.9	9,110,000	3,947,718	1,500,000	38.0	職員基本給等
給与手当(諸謝金相当)	9,065,000	8,942,389	4,000,000	44.7	14,650,000	6,276,871	1,900,000	30.3	高齢者活用・現役世代雇用サポート事業 の実施に係る諸謝金
法定福利費	3,842,000	3,743,272	671,000	17.9	3,970,000	1,599,877	430,000	26.9	社会保険料
消耗品費	1,440,000	1,311,680	300,000	22.9	1,312,000	653,504	150,000	23.0	事務用品代、ガソリン代
印刷製本費	830,000	796,500	150,000	18.8	810,000	547,776	70,000	12.8	会誌印刷、封筒印刷
通信運搬費	1,570,000	1,515,858	410,000	27.0	1,490,000	581,089	220,000	37.9	郵便料、電話使用料
委託費	2,700,000	2,617,640	500,000	19.1	2,620,000	864,519	205,000	23.7	OA機器保守料、コピーカウント料等
賃借料	3,270,000	3,123,540	769,000	24.6	3,220,000	1,522,403	340,000	22.3	OA機器リース料、公用車リース料等
旅費交通費	1,850,000	1,832,508	0	0.0	1,700,000	229,855	11,000	4.8	職員出張旅費
合 計	39,467,000	38,779,520	10,800,000	27.8	38,882,000	16,223,612	4,826,000	29.7	

【注記】 本表は、このたびの監査に際してシルバー人材センターが作成・提出した調査票のほか、補助対象事業実績報告書等に基づき作成した。